



# 東 龍 便 り

〒224-0023 横浜市都筑区東山田2-9-1 (電話) 045-594-5107

E-mail : [ky-yj-higashiyamata@city.yokohama.jp](mailto:ky-yj-higashiyamata@city.yokohama.jp)

## 世界で活躍する卒業生

安藤 位彦

立春が過ぎだんだんと暖かくはなっただけですが、まだ寒い日が訪れる2月です。このようなときはインフルエンザが発症しやすい状態です。健康管理には十分注意してください。とはいうものの東山田中ではアリーナの裏にある紅梅がきれいに咲き着実に春の訪れを示しています。学校にお越しの際ご覧ください。



私事になりますが、この忙しい時期に首・腰のヘルニアになり、生まれて初めて10日間ほど入院しました。その時、健康の大切さを入院先のベッドの上でしみじみ感じましたが、それ以上に自宅から搬送される時ストレッチャーの使えない中、救急隊員の方々が体を抱えて運び出してくれた時や、学校に来られないとき仕事を学校の職員にお願いしてやっていただいた時に人のありがたさが身にしみました。やはり一人だけで生きて行く事は無理なんだということをつくづく思いました。

話は変わりますが2, 3年生のみなさん、2年前に保健体育科の教育実習生として東中に来た、卒業生の山野滉太さんを覚えていますか。現在、彼は青年海外協力隊員として西アフリカのセネガルに派遣され、現地の学校で教員としてボランティア活動をしています。体育教員としての活動だけでなく、剣道の普及活動や幼児教育現場でのウォールアートなどを行い、現地の子供たちと充実した日々を送っています。この度、本人から現在の様子について e-mail で送られてきましたのでみなさんに紹介します。



### — テランガの国セネガル —

私は青年海外協力隊員として、アフリカのセネガルで体育の普及を目的に活動しています。

1月で派遣から半年が経ち、セネガルでの生活にも慣れてきました。

雨漏りのする家、毎日の停電・断水、手づかみで食べる食事の仕方、手洗いをする洗濯、馬車での通勤、家の前で寝ているヤギがいることなど日本では味わえない環境の中楽しく生活しています。





この国には、日本の「おもてなし」に似た「テランガ」の文化があります。

ながーい挨拶の中で「今日ご飯にこないか?」「ちゃんと電気はきているか?」「洗濯はだれがやってるんだ?」といつも言葉をかけてくれ、助けてくれます。セネガルに来て、「テランガ」に触れる事で、私は「人と人とのコミュニケーションの大切さ」を生活の中で強く感じています。

セネガルでは今、義務教育制度ができ、生徒数が増えました。それに伴い教員数も増加させたのですが、同時に教員の質が下がってしまいました。その中でも体育を含める情操教育の質が下がっている状態で、私は体育の授業を現地教員とともに行うことで体育の意義、理解を深める為の活動をしています。

具体的には新しい運動プログラムの提示、運動会の開催を進めていければとおもっています。



そんな中で私は「今、ここでなにができるのか?」と自問自答しながら、日々生きていることへの感謝を忘れず、前向きに!楽しく!活動が続けていきます! (山野滉太)

## 学校・家庭・地域連携事業 第2回実行委員

2月6日(火)、平成29年度東山田中学校区学校・家庭・地域連携事業の2回目の実行委員会が、コミュニティハウス研修室で行われました。

東山田中学校、山田小学校、東山田小学校、北山田小学校と各校のPTAの方々、連合町内会や民生委員、補導員など地域の方々、都筑区役所、本校学校運営協議会や学校支援地域本部の方々など、たくさんの方にご参加いただきました。

各学校からは、最近の子どもたちの様子の説明や本年度の活動についての報告がありました。地域の方からは、行事の実施報告や子どもたちの参加状況、中学生のボランティア活動や小学生の「まちたんけん」の取組などについて説明がありました。そのほか、子どもたちを取り巻く最近の課題や、学業地事業予算の適正な執行についてなど、さまざまな話題について情報交換が行われました。

本年度も残りわずかとなり、事業のまとめとともに来年度の事業の展望を見据える有意義な会となりました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



# 赤ちゃんふれあい授業（再会）



前期に赤ちゃんふれあい授業に来ていただいたお母さんと乳幼児のお子様に再び来校いただき、お母さんの育児の話とこの半年で赤ちゃんがどのような成長があったのかを話してもらいました。お母さんたちは、我が子ができることが少しずつ増えていくことに喜びを感じ、それが忍耐の必要な育児への活

力になっているとお話されていました。乳幼児たちはこの半年間で歩けるようになったり、一語文ですがお話ができるようになったりしていました。お母さんたちの育児の大変さや、大切に育てられているという親からの愛情を自分自身に置き換えて考えてもらい、思春期の中学生たちが親への感謝の気持ちをもてるように授業しました。生徒はお母さんたちの話を真剣に聞いており、時折、乳幼児たちが動き回るその行動などを見て、微笑んでいました。年に2回も学校に足を運んでいただきましたが、お母さん方も中学生と関われる良い機会になったと話してくださいました。



## ベトナムの「子どもの家」報告会

ボランティア団体『ベトナムの「子どもの家」を支える会』が企画する海外スタディツアーに約1週間参加した生徒5名が、2月5日北山田小学校、2月19日山田小学校でそれぞれ報告会を行いました。あいにく当日はインフルエンザの関係で予定していた体育館での発表ができず、放送による報告会となってしまいました。内容は、小中学校で集めた上履きをストリートチルドレンの子どもたちが住む『子どもの家』に届けた模様や



そのときの交流の模様、また、ベトナムの環境や文化など、自分たちが見て感じたことを発表しました。その中のまとめとして、「日本での生活が当たり前だと思っていることが、当たり前ではありません。例えば、文化的に生卵が食べられないということがあります。なぜなら、手に入る卵は滅菌されていないので、食べる時は必ず加熱するのです。また、みんな辛いものが大好きというという地域もあります。」と発表していました。海外スタディツアーに参加した生徒には本当に心に残る経験であったと思います。

# お弁当について

今、本校の昼食は、自宅から持参するお弁当と横浜市のハマ弁、業者弁当のひより弁当の3通りがありますが、この4月からひより弁当がなくなるかもしれません。業者からの連絡で、朝の注文受付と昼の弁当配布の人手がないため本校から撤退したいという申し入れがありました。ひより弁当がなくなると、当日朝の注文やお弁当を忘れたときの急な対応などができなくなります。困ったことですが、今後は注文受付と弁当配布の人手を学校で見つけるか業者を変えるしか方法はありません。みなさんご承知おきください。

なお、朝と昼のお手伝いをしてくださる方がいらっしゃいましたら、副校長までおもうしでください。詳細をお話しします。



## ご連絡

東山田中学校ホームページに新しくいじめ防止基本方針と東山田中部活動規約を掲載いたしました。

いじめ防止基本方針は、学校として誰もが安心して、豊かに生活できるための環境作りを目指すもので、基本的な考え方や方法・対策を示したものです。

また、東山田中部活動規約は、部活動を行う際の学校としてのルールを定めたものです。一度ご覧ください。なお、今話題にもなっている横浜市立教職員の「働き方改革」の中には、部活動の在り方についても書かれていましたので、この内容については今後検討し、来年度規約の改定を行う予定です。

## ☆部活動記録☆

部活動名	大会・コンクール名（行事名）、結果等	
野球部	都筑区1年生野球大会 優勝	
陸上部	神奈川県ロードレース大会 区外2・3年の部 加賀妻彬 第5位	
女子バレーボール部	都筑区冬季大会優勝 横浜みつばバレーボール交流会 1日目3位、2日目優勝	
柔道部	神奈川県中学校柔道大会新人戦 男子団体戦 2回戦敗退 男子 60kg級 ベスト16 志村祐太郎	
吹奏楽部	ハートフルコンサート in 横浜 2018 出演	